

親子の絆づくりに配慮した対応を

玉の子夜間保育園

県内において、夜間保育事業を実施している保育園は3箇所ある。そのうちのひとつが、那覇市牧志にある「玉の子夜間保育園」である。

園長の高良桂子氏に取材した。

【多様な保育ニーズに対応】

夜間保育は、基本的に午後1時から午前0時までの受け入れであるが、昼夜併設の同園では、午後1時から4時間の前倒し、午前0時から2時間の延長保育を含め、計6時間の長時間保育に対応している。保護者は、報道関係、塾講師、サービスマンなど就業時間が主に夜間や変動の多い就労形態の下で仕事をしている。昼夜併設のこの園では、従来の保育園では対応できなかった保育ニーズに対応できるメリットがある。

【親子の絆づくりへの配慮】

子どもは親の様子を良く見ていると話す園長は、親子の絆づくりに配慮した対応を心がけている。親が普段の表情と違って見えたなら事務所に誘い、気軽に声をかけ親のことばに耳を傾ける。それだけでも、「ストレスの解消」になり、親の表情が変わ



住所：那覇市牧志 2-3-15
TEL：098-867-3221
FAX：098-862-3930

るという。
このように親の様子にも注意を払うことは子育てを支援する上で大切である。

同園では、子育ての主体はあくまでも親であることを再認識させる等親の不安定さが子どもに影響を及ぼす前に解消できるよう工夫している。

【職員への配慮】

夜間保育では、保育士の勤務体制を考慮する必要がある。同園では、勤務がかったよらないように昼夜の職員に対し14種類ものシフトを作成し、働きやすい勤務体制づくりを図っている。こうした配慮が安全で利用しやすい夜間保育を支えている。

めまぐるしく変わる社会環境に伴い保育ニーズも変化していく。市街地中心に位置する同園では、多様な子育て支援策を探っている。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

全国170万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプに加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社